

都市再生整備計画(第1回変更)

宇多津地区

香川県 宇多津町

平成31年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	香川県	市町村名	宇多津町	地区名	宇多津地区	面積	51 ha
計画期間	平成 27 年度	～	平成 30 年度	交付期間	平成 27 年度	～	平成 30 年度

目標

(大目標)コンパクトで魅力的・風格ある市街地形成を図る。

- ① 歴史・文化的資産や拠点施設をネットワークし、交流や賑わいの再生、次世代への継承、集客向上を目指す。
- ② 誰もが暮らしやすく、人にやさしい環境に配慮した安全・安心・快適なまちを目指す。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

宇多津町は、香川県のほぼ中央に位置する人口約18千人の県下で最も狭い町であるが、室町時代には将軍足利義満の側近細川頼之公のもと四国の政治・経済の中心地として栄え、古くは28ヶ寺が建立されていたところである。今も旧市街地には、四国八十八ヶ寺霊場の一つ郷照寺をはじめとした1社9ヶ寺や町家など、往時を偲ばせる古い町並みが残っている。

町域は2小学校1中学校区となっており、既にコンパクトな連担市街地が形成されている。この市街地は、成り立ちや整備水準が異なる新・旧市街地で構成されていることもあって、町人口は今後も一貫して増加基調であるものの、町域内に人口増加と減少地域が同居し、更に転入転出による人口流動が激しい。

しかしながら、住民調査では多くの項目での満足度評価は高く、暮らしやすい定住意向の強いまちである。現在、四国遍路の世界遺産登録へ向けた活動など官民協働の取り組みが行われている。

平成17年度から平成21年度まで(第1期)、平成22年度から平成26年度まで(第2期)、まちづくり交付金を活用し、道路・歩行者専用道路・公園・広場の再整備や古民家再生の事業を実施し、その結果多くの住民や利用者に歓迎され、活用されるだけでなく、住民の自発的なアダプト活動や再整備された道路等と調和した自宅の改修が進むなど、顕著な成果をあげてきた。

しかし、まだまだ未整備な旧市街地の道路等が残り、シームレスなネットワーク形成には至っていない。また、単独でソフト事業も行っているが、予算の関係等で大きな成果には結びついていない。

課題

- ・安全快適な歩行ネットワークの未完成。回遊のための公共交通サービスの不足。
- ・歴史、文化的資産や観光資源の認知度の不足。
- ・交流拠点施設の活用不足。
- ・古街における情報発信の不足
- ・住民主体のまちづくり活動の継続と活性化。

将来ビジョン(中長期)

- ・宇多津町総合計画(平成26年3月)では、『元気創造！これからも自立する宇多津』を将来像とし、住民の自立と参画による地域コミュニティのあるまち、生涯健康でいきいきと活躍できるまち、地域の特性を活かした個性と活力あふれるまち、安心して暮らせ、人材が育つまちを基本理念とし、健康・福祉の充実した、生活基盤、防災・環境及び教育・文化の整った、産業・地域活力があるまち、官民協働の行政改革を基本目標としている。
- ・その実現のための主要施策として、「公共施設等のバリアフリー化」「良好な市街地景観の創出」「安全・安心で快適な道路空間の形成」「公園の多機能化」「防犯施設の整備」「地域資源や文化遺産の保全と活用」「地域間交流の推進」等をあげている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
歩行者・自転車通行量(1地点2方向)	人/2日	古街地区の1ヶ所(網の浦郵便局前)における平日及び休日の歩行者及び自転車通行量の合計値。	交流や賑わい再生、集客向上、暮らしやすく安全安心快適なまちづくりの目標に対し、道路の高質化・ネットワーク化等の整備の効果を、計画区域の1ヶ所での歩行者・自転車の通行量をもって評価する。	606	平成26年度	680	平成31年度
集客数(イベント)	人/回	計画区域内で開催されるイベント「うたづの町家とお雑さん」に来訪する観客の数を把握する。	交流や賑わい再生、集客向上の目標に対し、道路の整備・ネットワーク化等の整備の効果を、計画区域で開催されるイベントに来訪する観客数をもって評価する。	18,606	平成26年度	19,300	平成31年度
満足度	%	住民アンケートにより、整備に対する5段階の満足度評価を調査し、そのうち「満足+やや満足」の回答割合。「古街のまちなみ」についての回答の値とする。	魅力あるまちづくり、回遊性の向上の目標に対し、道路の整備の効果を、満足度により評価する。	62.7	平成22年度	75.0	平成31年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(交流や賑わいの再生、集客向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力的で安全に回遊できる道路・寺社のネットワーク化をはかり、交流や賑わいの再生、集客向上を図る。 町家、沿道の歴史、文化的資産や街並みと調和した道路の整備を行う。 	<p>【基幹事業】 高質空間形成施設: 網ノ浦鍋谷線、田町大門線、山下中村線(若宮橋西) 栄町横町線、かじや町浦町線、幸町倉ノ前線、網ノ浦新町線 浜町栄町線</p> <p>【提案事業】 まちづくり活動推進事業: 住民主体のまちづくり支援事業</p>
<p>整備方針2(暮らしやすく、人にやさしい、環境に配した安全・安心・快適の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺住宅とマッチした景観形成、歩車共存の交通安全性を確保し、快適な歩行空間等により生活環境の向上を図る。 カラー排水性舗装やスリット側溝により、路面雨水性能の向上を図る 	<p>【基幹事業】 高質空間形成施設: 網ノ浦鍋谷線、田町大門線、山下中村線(若宮橋西) 栄町横町線、かじや町浦町線、幸町倉ノ前線、網ノ浦新町線 浜町栄町線</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域のまちづくり活動の継承・発展 毎年の恒例事業として定着している古街の「うたづの町屋とおひなさん」、「桜おどり」、「サマーフェスティバル」、「大収穫祭」、「夏祭り」等のイベント活動の裏方をまちの担い手と位置づけ、古街の家等を拠点にまちづくり活動に取り組む。 ○活動の支援 第1期及び第2期のまちづくり交付金事業で行った交流と参画拠点「公園」、賑わいの創出拠点「古街の家」「こめっせ宇多津」での活動の一層の活発化、参加の裾野の拡大を目指す。 ○交付期間中の計画の管理 交付期間中は、事業の進捗にあわせて継続的に住民に広報・啓発等の活動を行うことにより、事業内容の理解を得るとともに、事業の円滑な推進と事業効果の向上を図る。また、事業の有効性を適宜評価し、適正な運営に努めていく。 ○古街の情報発信 古街に関する情報発信を行う。(観光サイトの新規立上げ)観光客数を増加させるため観光ボランティアの創設等を検討する。 ○施設の活用 地区内の交流拠点施設をイベントなどにより活用する。 	

都市再生整備計画の区域

宇多津地区(香川県宇多津町)

面積

51 ha

区域

塩浜、網ノ浦、西町、新町、山下、大門、中村、宇夫階

